

セラピスト必見の2日間！ 自然療法に興味のある方なら、どなたでもご参加いただけます。

豪華なゲストを
迎える
基調講演



自然療法の
スペシャリストや
IFPA正会員による
症例研究発表



キース・ハント氏からのビデオレター & フローランス・ノタリウス IFPA本部会長による英国アロマ事情報告も行います！

【キース・ハント氏プロフィール】
英国「ロイヤルフリーホスピタル」補完療法コーディネーター。世界的に有名なセラピストであるクリア・マクスウェル・ハドソン氏に師事。外科・内科・産婦人科・腫瘍科・緩和ケア・集中治療など、全ての病棟においてアロマセラピートリートメントやフレクソロジーなどの補完療法サービスを行う。

最新のアロマ商品が
入手できる販売ブースが集合！
懇親会(11/5のみ)も開催！



アロマセラピストは進化の時を迎えています！



英国最大のアロマセラピスト協会、IFPAはアロマセラピーを世界に広める牽引役を担ってきました。それに倣って日本の IFPA 会員も美容や健康、医療や介護の現場でアロマセラピーを提供し始めてから 20 年を越えますが、アロマセラピーという言葉も日本に定着した今、私達は次なる段階へと進化すべき時を迎えています。ここから何を指すべきなのか？この度のカンファレンスで、医療や自然療法の分野で新しい道を切り開かれている先生方のご講演や、日本全国で活躍されている IFPA 会員の素晴らしい症例や実践例の発表が、アロマセラピストの皆様に進むべき方向を示唆してくれれば幸いです。

IFPA ジャパンカンファレンス 2016 実行委員会 代表 ギル 佳津江

お申し込み方法 ホームページの専用フォームよりお申込みください。

<http://www.ifpajapan.org>

IFPA日本支部 検索



簡単！
QRコードは
こちら

早期お申込みで
最大5,000円割引！
8月末迄早割中！
詳しくはHPへ

| 参加費 | 1DAY | 早割申込 2016年8月末迄 | 2DAYS | 早割申込 2016年8月末迄 |
|---------|---------|-------------------|---------|-------------------|
| 一般 | ¥17,000 | ¥14,500 | ¥28,900 | ¥24,500 |
| IFPA 会員 | ¥14,000 | ¥11,900 | ¥24,500 | ¥19,500 |

※料金は全て税込です

懇親会 参加費▶5,000円

CPDポイント 1日参加：A・6ポイント/2日参加：A・12ポイント

SNSにて最新情報配信中！

国際プロフェッショナルアロマセラピスト連盟
@ifpajapan

会場 ブリーゼプラザ7階小ホール・8階
(大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー7階・8階)



・四つ橋線西梅田駅 徒歩3分
・JR大阪駅(桜橋口) 徒歩5分
・阪神梅田駅(西改札) 徒歩5分
・JR東西線北新地駅 徒歩5分

お問合せ先 IFPAジャパンカンファレンス2016実行委員会

主催：国際プロフェッショナルアロマセラピスト連盟 IFPA 日本支部

Tel & Fax 075-353-7570 Web <http://www.ifpajapan.org> / Email ifpajapan2016@gmail.com
〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 607 辰巳ビル 5F / 営業日：毎週火曜・木曜 / 営業時間：10:00 ~ 16:00

.....認定校一覧(順不同).....

自然療法の国際総合学院 IMSI/MH スクール・オブ・ホリスティック・スタディーズ/ギルフォード カレッジ オブ アロマセラピー/ペニーブライスアカデミー日本校/
ホリスティックセラピストスクール金沢(ペニーブライスアカデミー金沢サテライト校)/英国アロマセラピーカンパニー日本認定校/ジャパン・エコー・デ・アロマセラピー(JEA)



The International Federation of Professional Aromatherapists
国際プロフェッショナルアロマセラピスト連盟 IFPA日本支部主催

第4回 IFPA JAPAN カンファレンス 2016 in OSAKA

医療と自然療法の現場から
～スペシャリスト達の最前線 2days～



月経から見る現代女性の健康
～生活習慣の変化と生殖能力～

さいとう助産院
齊藤 智孝



輝く女性のための
精油のエビデンス

薬剤師/AEAJ 常任理事/学術・精油委員会委員長
熊谷 千津



更年期に活かす植物療法
～ハーブとアロマセラピー、
その実践とエビデンス～

薬学博士/株式会社トトラポ 代表
村上 志緒



癒しの道を歩む
Getting Well Again!
～サイモントン療法から～

緩和ケア医/医学博士/サイモントン療法認定トレーナー
田村 祐樹



赤堀 真澄
中医学弁証に
もとづく
不妊症のための薬膳



アネルズ あづさ
妊娠前から産後を
通しての
アロマセラピーケアに
おける有用性と課題



亀井 由美
緩和ケアチームで行う
アロマセラピーの
実際と症例報告



中村 智美
緩和ケアへの
アロマセラピー導入と
継続の成功事例



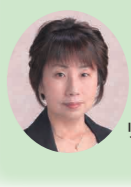
上村 由美子
ホテルにおける
「鍼灸+アロマセラピー」
の多様な実践



宮武 直子
ジャスミン・
サンパックの
吸引・塗布による
ストレス変化



木村 かおり
アトピー性皮膚炎の
症状を改善するための
アロマセラピーの効果



青山 國見
皮膚疾患における
Dr. ボッター式
マニュアル・
リンパドレナージュの効果
症例報告



楠田 直美
月経困難症に対する、
漢方養生と
アロマセラピーの
併用の効果 症例報告



山口 知世
性周期で訪れる口の
トラブルに対して有効
であったアロマオイルを
用いた足へのアプローチ



鈴木 希
アトピー性皮膚炎に
対する東洋医学的
アロマセラピーの
症例報告



和田 宏子
重度障がい児に
対するアロマ
マッサージの
排便促進効果の症例報告

※内容は変更になる場合がございます。悪しからずご了承くださいませ。

2016年11月5日(土)・6日(日) 会場 ブリーゼプラザ7階小ホール・8階

※懇親会 11月5日(土) 18:30～

(大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー7階・8階)

| 11/5(土) 女性のライフステージ (思春期～妊娠・出産～更年期～) | |
|-------------------------------------|---|
| 10:30～11:00 | ● 開場 (受付開始) ● 開会の辞 フローランス・ノタリウスIFPA本部長よりメッセージ |
| 11:15～12:15 | ● 講演会 月経から見る現代女性の健康～生活習慣の変化と生殖能力～ 齊藤 智孝 |
| 12:15～13:15 | ● 講演会 更年期に活かす植物療法～ハーブとアロマセラピー、その実践とエビデンス～ 村上 志緒 |
| 13:15～14:45 | ● 昼休憩 分科会①と②は同じ講演者で同じ内容の講演となります |
| 14:45～15:30 | ● 1-A 中医学弁証にもとづく不妊症のための薬膳 赤堀 真澄 |
| | ● 1-B 妊娠期から産後を通してのアロマセラピーケアにおける有用性と課題 アネルズ あづさ |
| | ● 1-C ホテルにおける「鍼灸+アロマセラピー」の多様な実践～リラクゼーションアロマ・スポーツアロマ・漢方アロマ・不妊症に対するアロマ～ 上村 由美子 |
| 15:45～16:30 | ● 2-A 中医学弁証にもとづく不妊症のための薬膳 赤堀 真澄 |
| | ● 2-B 妊娠期から産後を通してのアロマセラピーケアにおける有用性と課題 アネルズ あづさ |
| | ● 2-C ホテルにおける「鍼灸+アロマセラピー」の多様な実践～リラクゼーションアロマ・スポーツアロマ・漢方アロマ・不妊症に対するアロマ～ 上村 由美子 |
| 16:45～17:30 | ● 3-A ジャスミン・サンバックの吸引・塗布によるストレス変化 宮武 直子 |
| | ● 3-B 月経困難症に対する、漢方養生とアロマセラピーの併用の効果 症例報告 楠田 直美 |
| | ● 3-C 性周期で訪れる口のトラブルに対して有効であったアロマオイルを用いた足へのアプローチ 山口 知世 |
| 17:30～18:30 | ● 17:30閉場 (物販ブースは18:30まで開催) |
| 18:30～20:30 | ● 懇親会 |

11/6(日) 1. 皮膚疾患をケアするアロマアプローチ 2. ガンと緩和ケア

| | |
|-------------|--|
| 10:30～11:00 | ● 開場 (受付開始) |
| 11:00～11:45 | ● 4-A 緩和ケアチームで行うアロマセラピーの実際と症例報告 亀井 由美 |
| | ● 4-B 緩和ケアへのアロマセラピー導入と継続の成功事例 中村 智美 |
| | ● 4-C アトピー性皮膚炎の症状を改善するためのアロマセラピーの効果 木村 かおり |
| 12:00～12:45 | ● 5-A 皮膚疾患におけるDr.ポッター式マニュアル・リンパドレナージの効果 症例報告 青山 國見 |
| | ● 5-B アトピー性皮膚炎に対する東洋医学的アロマセラピーの症例報告 鈴木 希 |
| | ● 5-C 重度障がい児に対するアロママッサージの排便促進効果の症例報告 和田 宏子 |
| 12:45～14:15 | ● 昼休憩 |
| 14:15～15:15 | ● 講演会 輝く女性のための精油のエビデンス 熊谷 千津 |
| 15:15～16:15 | ● 講演会 癒しの道を歩む Getting Well Again! ～サイモントン療法から～ 田村 祐樹 |
| 16:30～17:15 | ● 英国報告 キース・ハント氏からのビデオレター&フローランス・ノタリウスIFPA本部長による英国アロマ事情報告 |
| 17:15～17:30 | ● 閉会の辞 |
| 17:30～18:30 | ● 17:30閉場 (物販ブースは18:30まで開催) |

※講演・分科会・タイムスケジュールの内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

| 講演会 | 齊藤 智孝 |
|--|-------|
| 月経から見る現代女性の健康 生活習慣の変化と生殖能力 | |
| 人との繋がりの中でイキイキと自分らしく生きること、自身の体のことを知り、いたわり大事にすること、その大切さをお伝えします。生命の奇跡・女性のからだ・月経・女性の健康・病気について(性感染症含む)・食事・睡眠・清潔・ストレス解消・呼吸瞑想・心の健康(自己肯定感・自尊感情)など、様々な角度からお話しいたします。 | |
| <small>さいとう助産院 助産師</small> これまでに1000人以上の命の誕生に立ちあ。東近江市近江八幡立野町、湖南市の委託事業保険センターで妊婦教室を開催。赤ちゃん訪問助産師相談を実施している。2004年近江八幡保健文化賞、2012年滋賀県健康づくり財団理事長賞受賞。 | |

| 分科会 1-C・2-C | 上村 由美子 |
|--|--------|
| ホテルにおける「鍼灸+アロマセラピー」の多様な実践 リラクゼーションアロマ・スポーツアロマ・漢方アロマ・不妊症に対するアロマ | |
| ホテルにおけるアロマセラピーといえば、旅先でのリラクゼーション、非日常の異空間でのリフレッシュを目的とされている場合が多い。その中でも ウェスティンホテル大阪内 鍼灸サロンでは、鍼灸適応症患者さま、体質改善目的の患者さま、スポーツ疾患の患者さま、不妊症患者さまなどさまざまな病理に幅広い効果を出しています。この分科会では、私がホテルで実際に行っている実践について発表させていただきます。WESTIN HOTEL OSAKA 鍼灸サロン勤務 鍼灸師 / ホリスティックサロン心の月 オーナー。心身ともに健美に癒しのホリスティックセラピストとして(鍼灸・アロマ・カウンセリング、エステ、運動療法を融合)生活の質の向上を目的に、心と体の癒し時間で自然治癒力を高めて、豊かで幸せな毎日をサポートする活動を行っている。 | |

| 講演会 | 熊谷 千津 |
|--|-------|
| 輝く女性のための精油のエビデンス | |
| 日本では、アロマセラピーや植物療法など、自然の力で健康や美容を求める女性も年々増えています。その中で、精油は経験的には効果があるように思われているものの、まだまだ科学的な検証が不十分であったり、研究することで初めて発見される作用もあったりするなど、知れば知るほど奥深いのがアロマセラピーの分野です。このたびは女性の美肌に焦点を当て、最新の研究結果からアロマセラピストの皆様役に役立つ情報をお伝えさせていただきます。公益社団法人日本アロマ環境協会(AEA)常任理事/博士(農学)/薬剤師 英国でアロマセラピーを学び、1995年にIFA認定アロマセラピストとなる。帰国後は、長年ホスピスでアロマセラピーを行う。精油の研究論文などを紹介する「アロマ研究室」連載。著書に「やさしい精油化学」、「元気が出るスープ」などがある。 | |

| 分科会 4-C | 木村 かおり |
|--|--------|
| アトピー性皮膚炎の症状を改善するためのアロマセラピーの効果 | |
| 幼少期の体質、食生活との関連が言われていたアトピー性皮膚炎。最近では大人になって発症するケースが増えています。それは現在の生活環境や労働環境によるストレスが原因とも考えられています。今回の研究はアロマセラピーを取り入れることによって、症状を改善させ、症状に苦しむ方々が幸せな生活を送れるようになってほしいという想いで実施いたしました。自身の原因不明の全身のむくみに悩んでいた時、アロマトリートメントで症状が改善したことをきっかけに、自分が目指す「女性らしい心身とまきれいなカラダ作り」に活かすことができると思いEIAに通いはじめ、昨年よりアロマセラピストとして活動しています。 | |

| 講演会 | 村上 志緒 |
|--|-------|
| 更年期に活かす植物療法 ハーブとアロマセラピー、その実践とエビデンス | |
| 女性の一生を考える時、更年期は大きな転換期の一つといえます。更年期は思春期と同じように、女性ホルモンのバランスが崩れることが多く、冷えやほてり、倦怠感など、様々な身体の不調がみられ、また女性としての機能に少しずつお別れするこの時期は、抑うつや不安といった精神的な不調も多くなります。この時期を健やかに過ごすために役立つ植物療法とその実践法、また化学的研究により報告されているエビデンスをご紹介します。 | |
| <small>株式会社トトラボ 代表/薬学博士</small> 植物療法学(民俗薬草文化、作用機序、特に向精神作用)を研究。日本のハーブ、ネイティブアメリカンのハーブ、そして2009年からは南太平洋フィジーのハーブが研究テーマ。人と自然とのつながりから生まれる植物療法について、自然・生活文化・科学の観点から学ぶセミナーやワークショップを展開。 | |

| 分科会 3-A | 宮武 直子 |
|--|-------|
| ジャスミン・サンバックの吸引・塗布によるストレス変化 | |
| ジャスミン・サンバックの精油の吸引により、ストレスホルモン・コルチゾール値が20～30%軽減、同精油を使用したトリートメントにより、コルチゾール値が50～60%軽減することが分かりました。また副交感神経が活性化し、末端の冷えが解消されることも明らかになりました。個人サロンでもできる検査方法と具体的な調査結果についてお話しさせていただきます。IFPA認定アロマセラピスト/株式会社ドルフィンズ代表取締役/自然療法の国際総合学院 IMSI 講師 女性ホルモンに着目した天然100%スキンケアブランド・[jolve]開発者 多忙な会社員時代に、32歳でホットフラッシュを起こしたことからアロマの世界に転身。女性が内面から輝きを放ち、人生を楽しむためのお手伝いをしている。http://www.jolve.jp | |

| 講演会 | 田村 祐樹 |
|---|-------|
| 癒しの道を歩む Getting Well Again! サイモントン療法から | |
| 私たち一人一人の中には、もともと素晴らしい癒しの力が備わっており、そこには個性があります。癒しの道にも個性があり、一人一人道筋や、歩むペース、歩みだすタイミング、力の源も違います。「自分らしくある」とき、私たちは素晴らしい力を発揮し、健康の力が高まります。その人らしく、あなたらしく、癒しの道を歩むため、そして、健やかで豊かな人生を歩んでいくために大切なエッセンスをお伝えします。緩和ケア医/医学博士/サイモントン療法認定トレーナー 現在「一人の医師」「ひとりの人」として緩和ケアに携わっている。がん患者とその家族に対して、治療サポートおよびこころのケアを提供。医療・看護・福祉・教育の現場で「CARE for CAREGIVER」を提唱し、各方面で講演・セミナー活動を行っている。 | |

| 分科会 5-A | 青山 國見 |
|---|-------|
| 皮膚疾患における Dr. ポッター式マニュアル・リンパドレナージの効果 症例報告 | |
| エミール・ポッター博士が開発した、このマニュアル・リンパドレナージは、リンパ浮腫治療に用いられているだけでなく、美容やダイエットはもとより、花粉症、外傷、月経痛、関節炎、浮腫み、その他様々な疾患の症状改善に高い効果をあげています。その中でも、今回は皮膚疾患に関して、私が施術させていただいた症例をいくつかご紹介させていただきますと思います。IFPA認定アロマセラピスト/Dr.ポッター式MLDセラピスト/歯科衛生士 2015年より、あおやま歯科2階に、Dr.ポッター式マニュアル・リンパドレナージ(MLD)と、アロマセラピーのサロン「Antrieb」アトリーブを開設。統合医療の必要性を感じながら、歯科衛生士業務と、セラピスト業務を行なっている。 | |

| 分科会 1-A・2-A | 赤堀 真澄 |
|---|-------|
| 中医学弁証にもとづく不妊症のための薬膳 | |
| 不妊の原因を、中医学の考え方でタイプ別に分けお伝えいたします。どんな病気にもタイプがあり、タイプが変われば、治し方(食材)も変わります。「○○という症状にはこれが効く!」と聞いて、誰もがそれに飛びつき、そのときだけそれを多量に採るという考え方は、根本の問題を置いています。自分の病んでいる本当の原因を知り、【根本治療】していく方法を、自身の不妊の実体験も交えながらお伝えさせていただきます。 | |
| <small>国際薬膳学院 学院長/国際中医師/中医薬膳指導士</small> 2001年1月から2008年3月まで香港在住。香港の漢方クリニック「新華中医薬有限公司」にて、香港人中医師と日本人患者の間に入り、診察の通訳をしながら2人の女性中医師に師事。「薬食同源」の食文化と本場の中医学のおもしろさを、日本の日々の生活に楽しく取り入れる方法を、伝えている。 | |

| 分科会 3-B | 楠田 直美 |
|--|-------|
| 月経困難症に対する、漢方養生とアロマセラピーの併用の効果 症例報告 | |
| 漢方と言うと漢方薬(高い、不味い)、薬膳と言うと料理が大変で続けられないというイメージの方が多く、漢方の基本は「自分に寄り添い、季節とともに暮らすこと」元気の土台を作るために非常に有効な漢方を優しい形で生活に取り入れ、かつ植物が持つ沢山の可能性とタッチングによるアロマセラピーならではの有効性を生かしたセッションで、短期間で解消した症例研究を発表させていただきます。IFPA認定アロマセラピスト/月めぐり®漢方主宰 幼い頃のアトピー性皮膚炎などの不調をハーブ療法と食事で完治させ、自然療法の素晴らしさに気づく。健康の土台となる「食事・運動・休息・心の養生」を、漢方を通して12年学ぶ。その後の母のケアを通じ、緩和ケアの必要性を実感。講師としての活動を開始する。 | |

| 分科会 4-A | 亀井 由美 |
|--|-------|
| 緩和ケアチームで行うアロマセラピーの実際と症例報告 | |
| 日本でも緩和ケア病棟でのアロマセラピーの有用性は多く報告されていますが、緩和ケア病棟への入院を希望されなかったり、満床のために一般病棟で過ごす患者様は少なくありません。また、治療中の患者様でも痛みや浮腫、不安・孤独などに苦しむ方も多くおられます。このような患者様にも緩和ケアチームと連携してアロマセラピーを提供することで、早期から症状緩和やQOLの向上につながったと考えられる活動について報告します。IFPA認定アロマセラピスト/Dr.ポッター式MLDセラピスト/看護師 患者様の痛みやだるさ、孤独や不安、痛みを緩和しアロマセラピーが素晴らしい力となることに気づき、2006年にIFPAの資格を取得。現在、緩和ケア病棟と一般病棟の緩和ケアチームのスタッフとして、アロマセラピーを施術している。 | |

| 分科会 5-B | 鈴木 希 |
|---|------|
| アトピー性皮膚炎に対する東洋医学的アロマセラピーの症例報告 | |
| 成人になってから発生するアトピー性皮膚炎は、ストレスや疲労、食生活など日常生活の乱れにより悪化するケースがある。アトピー性皮膚炎を持つ私のクライアントは、心理面の問題も併せ持っていることが分かりました。そこで、陰陽五行を活用して心理面に働きかけるブレンドオイルを作成し、対応する経穴に塗り込む「東洋医学的アロマセラピー」を実施しました。心身両面のアプローチで皮膚症状とQOLの改善につながった症例を発表します。IFPA認定アロマセラピスト/自然療法の国際総合学院 IMSI 講師 自身の体調不良をきっかけに自然療法と出会う。なかでも精油やハーブなど、植物が持つパワーに魅了され、更なる学びを求め渡英。ロンドンにあるアロマセラピースクールITHMAにて東洋医学とアロマセラピーを学ぶ。帰国後、個人サロンや講師業を通じて植物療法の普及活動を行う。 | |

| 分科会 1-B・2-B | アネルズ あづさ |
|--|----------|
| 妊娠期から産後を通してのアロマセラピーケアにおける有用性と課題 | |
| 妊娠期の精油やアロマセラピーケアの活用は、10年前より身近になりました。しかし、妊娠期から産後を通してのケアを「有用」に提供していくためには、妊娠期の10ヶ月間に生じる不定愁訴の対応のみならず、産後のベビーとの関わり方までの必要性が生じてきます。実際にこれらのサービスにおける精油やボディケア、そしてメンタルケアまでを通じて、妊産婦ケアの専門家として把握すべき有用性と課題の両面についてお話しします。IFPA認定アロマセラピスト/IFPA認定講師/フォーミュレーター 2000年(有)アロマティーク設立。産婦人科内でのアロマセラピーを推進し、医療従事者および一般向けの講座を行う一方、ハリウッド映画や著名人の専属フォーミュレーターとして活動。2016年(株)Blue inkを設立。「認証オーガニック」の啓蒙活動を、精油そしてスキンケアを軸として16年間継続している。 | |

| 分科会 3-C | 山口 知世 |
|--|-------|
| 性周期で訪れる口のトラブルに対して有効であったアロマオイルを用いた足へのアプローチ | |
| 女性は性周期に応じて口腔内にいろいろな症状を呈します。毎月歯茎が腫れる、歯が痛む、口が乾く、しかし、一週間くらいすると症状が消える。そういう時は、月経前症候群PMSが疑われます。私の軽減の方法は、口腔内へのアプローチは少なく、今回は、20歳代から50歳代までの女性のうちPMSにより口腔内に症状があらわれたと考えられた13名にアロマオイルを用いて足のマッサージを施しました。その結果をご報告いたします。歯科医師/食育と家族支援研究所 主宰 代替医療、とくに東洋医学的な考えをベースに、個々にあったオーダーメイドのやさしい歯科診療を目指す。口腔内の治療のため、全身の不調を取り除くためにアロマセラピーが有効と考え現在勉強中である。 | |

| 分科会 4-B | 中村 智美 |
|---|-------|
| 緩和ケアへのアロマセラピー導入と継続の成功事例 | |
| 神奈川県横浜市内にある「神奈川県立こども医療センター」や「育成会横浜病院」などでの、①職員向け学習会の内容②医療従事者からよくある質問③受講者の実践内容を紹介します。緩和ケアの一つの選択肢として、患者様やご家族の方にご利用いただくためには、病院や施設の職員の方々があロマセラピーについて知り、自分の癒しや家族・周りの方へのケアに実践してもらうことが一番の近道だと考え、「職員向け学習会」を定期的に開催しています。IFPA認定アロマセラピスト アロマセラピーを通じ、「幸せ」や「豊かさ」を意味する「福祉」のサポートを目的とし、「NPO法人日本アロマセラピー福祉サポート協会」を設立。2001年に(株)木花を設立。横浜ロイヤルパークホテルアロマセラピーサロンの運営、ふれあい横浜ホスピタルでの産後トリートメントなどを行う。 | |

| 分科会 5-C | 和田 宏子 |
|--|-------|
| 重度障がい児に対するアロママッサージの排便促進効果の症例報告 <small>※当報告は医療における小児(新生児から15歳まで)と若年者(15歳から39歳)対象</small> | |
| 重度の障がいをもつ子どもたちの食事は、状況に応じて成分は変わるものの、基本的に液体の栄養剤である。そのため便は泥状便や水様便になるが、そのような排便にも便秘が存在する。その対処には下剤や浣腸を用いるが、アロママッサージで便秘の医療処置をせずに便秘が解消する事例が見られた。その排便促進効果がどのような状況で得られたか、日中一時支援で預かりしている子どもたちに行った施術と効果の症例研究を発表します。IFPA認定アロマセラピスト/AEA認定アロマセラピーインストラクター九州大学大学院ユージー感性学博士課程在籍中、イネス多恵子氏のアロマと医療の取り組みに感銘し師事。医療法人小さな診療所の「小さなさんかく」という日中一時支援でセラピーを実践しながら、イネス氏の下で後進を育成。大学院で母性や香りと生体反応を研究中。 | |